

ボランティア情報

No.277 (2021年12月1日発行)

【発行】

社会福祉法人福井市社会福祉協議会
〒910-0018 福井市田原1丁目13-6
フェニックス・プラザ 1階
電話 (0776) 22-0022 ファックス 26-9109
ホームページ: <http://www.fukuic-shakyo.jp>
Eメール: mag@fukuic-shakyo.jp



福井市社会福祉協議会

検索

この情報紙は共同募金の助成を受けて作製しています

愛情がいっぱいこもった 地域の食堂 ほっとルーム あすわ



▲愛情たっぷりこめて100食を用意!

「ありがとう」と笑顔いっぱいでお弁当を受け取る親子づれ

ほっとルームあすわ(小宮山一恵代表)では、足羽地区で主に地域の子どもたちを対象にした食堂を開いています。この活動は、地域のママたちの「子どもたちの居場所をつくりたい」という声がかきかけです。近年、メディアで子ども食堂が取り上げられるなど、社会が子どもに目を向けるようになり、広く子どもたちに呼びかけ、その中で、もし困っている子や悩んでいる子の力になれたらいいなという思いで、2017年から月に1回、足羽公民館で開始しました。

宿題 Time とランチ Time を設け、地元の中学生や、高校生、大学生もお手伝いに来てくれて、さまざまな世代が集まる場となりました。子どもたちのなかには、回を重ねるごとにスタッフの顔を覚えてくれて、道であいさつしてくれる子も増えました。

しかし、新型コロナウイルスの影響のため、2020年3月以降は、みんなで集まったり、一緒に食べたりすることができなくなりました。スタッフみんなで話し合い、「今、活動をやめてしまうと、今までのつながりが途切れてしまう。」との声や、「コロナで、子どもたちはもちろんだが、保護者も疲弊している。家庭でほっと一息できる場をつくってほしい。」といった思いから、お弁当の配布に切り替え、毎月第1・第3土曜日に活動を継続しています。

11月6日(土)に実施されたこの日も、地域のボランティアスタッフで作業を手分けして、できたてのお弁当を子どもたちに渡していました。

スタッフのゆんさんは、「子どもたちが多世代の人との交流を通し、さまざまな体験にふれる場にしていきたいです。何より子どもたちの笑顔が活動の活力になっています。コロナがおさまり、またみんなでゆっくと遊べるようになってほしいです。」と語ってくれました。また、代表の小宮山さんは、「今後、子どもたちだけでなく、いろんな世代の方々にとっての地域の食堂になっていくといいなと思います。」と話してくれました。